



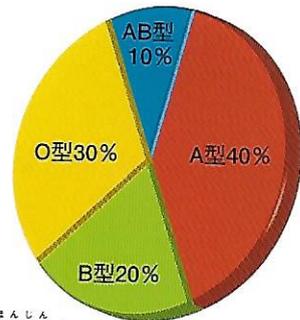
ミック・コレスの ニッポンの ココが不思議!?



「血液型占い」を扱った雑誌や書籍も数多く出版されている

日本で一般的に持たれている 血液型と性格のイメージ

A型	生真面目 世話好き 不言実行 家事の達人
B型	好奇心旺盛 独創的 せっかち 飽きっぽい
O型	おおらか 積極的 おせっかい ナルシスト
AB型	二重人格 冷静 平和主義 美意識が高い



日本人の血液型の割合

ミック・コレス
アメリカ・オレゴン州出身。『ジャ
パンタイムズ』記者を経て、2002
年からフリーライター、翻訳者

日本人の性格は、4種類!?

文●ミック・コレス 写真●河野利彦

日本では、飲み屋などで話をしていると血液型がよく話題に上る。驚くべきことだが、日本人は、血液型でその人の性格や行動様式、職業適性や恋人との相性までわかってしまうと、半ば本気で考えているようなのだ。彼らによれば、おおむねこんな具合に分析できるのだという——A型は生真面目で世話好き、B型は好奇心旺盛で独創的、O型はおおらかで積極的、AB型は二面性があり、冷静——。私はといえば、来日するまで自分の血液型など知らなかったし、まわりの外国人たちも同様のようだった。イギリスから来た友人は、血液型を問われて即座に「赤だよ!」と答えてしまったほどだ。いったいなぜ、日本人はこうも血液型にこだわるのだろうか。

1901年にウィーンでABO式血液型が発見されて間もなく、日本でも血液型と性格や能力との関係を探る研究が始まり、軍隊などでも参考にされたという。しかし、日本人の間に血液型と性格の“常識”が広まったのは、1970年代に能見正比古著『血液型でわかる相性』『血液型人間学』などのわかりやすい研究書が次々と出版され、広く読まれたことがきっかけだった。

現在、能見正比古氏の研究を受け継いでいる息子の後賢氏に話を聞くと、「これだけ血液型に関心が高

く、大量の情報が本や雑誌、テレビを通じて広がっている国は日本の他にありません。その理由は、4つの血液型が、比較的まんべんなく分布しているからではないでしょうか」と教えてくれた。ほとんどの国では、2つの血液型で人口の8~9割を占めてしまっているのだという。なるほど、2種類しかなければ、性格分析をし合っても面白くはなからう。

日本文化評論家のマーク・シリング氏は、「日本人は、性別、年齢、生地、出身校などで人を分類するのが好き。血液型もその項目のひとつに加えられたのです」と言う。

またある日本の友人は、「血液型がそれぞれどんな性格を表すかを、みんな共通のイメージとして持っている。その中での区別なら当たり障りがなくて、安心なのでしょ」と話してくれたが、私も同感である。血液型の、決まった枠の中で自分のユニークさを誇示できる点が、日本人に受けたのだと思う。またそれをゲームのような感覚で互いの血液型を当てたり、性格と結び付けたりして遊べるのも楽しいのだろう。

さて、“生真面目”といわれるA型の私としては、もっと細かく説明したいことがたくさんあったのだが……この辺にとどめておこう。⑤